

笠置シズ子と服部良一の軌跡



15th Anniversary (2009-24)

ナカノシマ大学2024年1月講座



上／輪島裕介さんの著書『昭和ブギウギ 笠置シズ子と服部良一のリズム音曲』の派手ポップな帯には二人の姿が（写真提供／笠置シズ子資料室・服部音楽出版）
左下／笠置シズ子は大正区・南恩加島小学校を昭和2年（1927）に卒業 右下／服部良一が頭角を現した昭和初期の道頓堀（大阪市立中央図書館所蔵）



1/30 (火) 18:00~19:30

会場 **大阪府立中之島図書館** (3階多目的スペース) 受講料 **2,000円** 定員 **60名**

講師 **輪島裕介** (ポピュラー音楽研究家・大阪大学大学院人文学研究科音楽学研究室教授)

「ラッパと娘」「センチメンタル・ダイナ」「アイレ可愛や」……そして一連の「ブギウギ」。朝ドラから流れてくる、聴いたことがなかった歌をいつの間にか口ずさんでいます。その歌が流行っていた当時、拍手を贈るだけだった観客も、いつしか立ち上がって踊りだしました。そんな魔力の源泉は、作曲家・服部良一と歌手・笠置シズ子のコンビ。その影響力は「レコードが何枚売れた」といった「流行歌」の物差しでは決して測れない、日本ポップス史上、画期的な大事件でもありました。

それを担った二人の足跡と時代背景、そして大阪独特の「地場の力」について、ポピュラー音楽研究の第一人者で、『昭和ブギウギ 笠置シズ子と服部良一のリズム音曲』（NHK出版新書）の著者である輪島裕介さんにたっぷり紹介していただきます。輪島さんは2013年4月以来のナカノシマ大学登壇。どうぞお楽しみに！

〈講師・輪島裕介さんからのメッセージ〉

大阪の巷が育んだ服部良一と笠置シズ子という2つの才能と、二人が生み出した歌と踊りの魅力について、近世から近代を貫く水都大阪の中心地のひとつである中之島でたっぷり語り尽くします。さらにキダ・タロー、ヤンシー&マリコンヌまで、服部・笠置から連なる大阪の近代音曲の系譜にも言及したいと思います。というか近代音曲って何？ と疑問に思った方もぜひご参加ください！



講師の輪島裕介さん



※講座当日、大阪府立中之島図書館のミュージアムショップでは、著書『昭和ブギウギ 笠置シズ子と服部良一のリズム音曲』（NHK出版新書）を販売します。

→受講申込はナカノシマ大学のWEB（「ナカノシマ大学」で検索を）で受付します。

※次回は2月27日(火) 18時……「生きるのへた！ だから落語はおもしろい(仮)」

講師＝細川紹々(マンガ家) パペット落語＝笑福亭鶴笑「あたま山」 聞き手＝高島幸次

ステージもフロアも揺らせ！